

令和 8 年 第 3 回定例会 総務企画委員会資料

令和 8 年度 政策企画部主要事業の経過等

1	シン・いばらきメシ総選挙 2026 について……………	2
2	地方創生関係交付金事業の効果検証について……………	4
3	カジキ釣り国際大会を中心とする総合イベントの 開催結果について……………	6
4	新カシマサッカースタジアム基本計画策定の 進捗状況について……………	7
5	Okukuji X(クロス) 2026 等サイクルイベントの 開催について……………	10
6	いばらきスポーツ観戦デジタルスタンプラリーの 開催について……………	12
7	県北振興の推進について……………	14

令和 8 年 9 月 15 日

政 策 企 画 部

1 シン・いばらきメシ総選挙 2026 について

本県を代表する新たなご当地グルメを創出し、「食」を通じた地域振興を図るため、「シン・いばらきメシ総選挙 2026」を開催し、事前投票や総選挙会場での投票、審査員審査によりグランプリを決定するとともに、受賞グルメ等について県内外へのプロモーションや定着化支援を行っていく。

(1) シン・いばらきメシ総選挙 2026 の開催概要

① 開催概要

- 【開催日時】 令和8年10月10日（土）～12日（月・祝）
10:00～16:00
※最終日に「審査員による審査」「表彰式」
【開催場所】 茨城県三の丸庁舎（水戸市）



② エントリー部門

- ・市町村は、一般料理とスイーツの2部門にエントリー可能
- ・一般料理とスイーツの2部門でそれぞれグランプリを決定

③ エントリー条件

- 1) 新規グルメであること又は既存のご当地グルメ（前回総選挙エントリーグルメ含む）の場合は、味や素材・材料の配合など、新たな工夫によりブラッシュアップを図ること
- 2) 茨城県産の食材が使用されていること
- 3) 茨城県内に所在する飲食店事業者等と連携し、エントリーグルメが店舗やイベント等で販売・提供するなど総選挙後のグルメ定着化の取組予定があること



【エントリー状況】

全 44 市町村・82 グルメがエントリー
(一般料理部門：40 グルメ、スイーツ部門：42 グルメ)

④ グランプリ決定方法

- ・「公式WEBサイト及び公式Xからの事前投票」と「総選挙会場での投票」の結果を総合して、一般料理、スイーツそれぞれの部門でファイナリスト上位10市町村を決定
- ・ファイナリスト上位10市町村について、「審査員による審査」の結果により一般料理、スイーツそれぞれの部門でグランプリ、準グランプリ、第3位を決定

【事前投票】

- 方法 公式WEBサイト、公式X
- 期間 令和8年8月25日(火)17:00～10月5日(月)12:00

⑤ 特別賞（グランプリとは別枠）

ア 特別審査員賞

- ・テレビ番組の食レポなどでも活躍してきた人気女性芸人トリオ「3時のヒロイン」が特別審査員に就任し、特別賞を授与

イ 協賛企業等特別賞

- ・以下の13協賛企業等が独自の基準で決定する特別賞計17賞を授与

企業名	副賞
(株) カスミ	受賞グルメの商品化※
(株) ファミリーマート	受賞グルメの商品化
JA グループ茨城	ポケットファームどきどきでの商品化、野菜詰め合わせ※
JR 東日本グループ	グループ店舗（NewDays や HANAGATAYA 等）での販売
アサヒ飲料（株）	賞金（10万円・5万円）※
味の素（株）	調味料詰め合わせ（10万円相当）
木内酒造（株）	オリジナルクラフトビール
キリンビール（株）	キリン一番搾り1年分
スカイマーク（株）	茨城空港発着4路線往復ペアチケット（1組）
特殊電極（株）	賞金（10万円）
東日本高速道路（株）	賞金（10万円）ほか
雪印メグミルク（株）	賞金（10万円）ほか
県アンテナショップ 「IBARAKI sense」	アンテナショップでのテスト販売機会の提供※

※は2賞設定

⑥ 協賛企業

- ・20企業等から協賛をいただき、特別賞設定のほか、ポスター掲示等によるPRやブース出展などによるイベントの盛り上げ等に協力を得ている。

⑦ その他

総選挙当日の賑わいづくりのために、飲料やPRブースなどが出店

- ・茨城県酒造組合や 茨城クラフトビール研究会、茨城ワイン協会、キリンビール、アサヒ飲料の協力により、エントリーグルメと合わせて飲んでいたきたい県内地酒 ・クラフトビール・ワイン・ソフトドリンクなどを提供
- ・その他、茨城ロボッツ、未利用魚アメリカナマズ、観光（IBARAKI PASSPORT）、GREEN×EXPO 2027などをPR予定

2 地方創生関係交付金事業の効果検証について

(1) 概 要

外部有識者で構成する「総合計画審議会 地方創生効果検証部会」を開催し、令和7年度に実施した地方創生関係交付金事業の効果検証を行った。

(2) 開催日

令和8年8月24日（月）

(3) 対象事業

新しい地方経済・生活環境創生交付金

第2世代交付金（ソフト事業）	10 事業
第2世代交付金（拠点整備事業）	1 事業
デジタル実装型	2 事業
計	13 事業

(4) 結 果

事業の効果	件数	主 な 事 業
A 地方創生に非常に効果的であった (全てのK P I が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる)	2	・ スタートアップ・エコシステム拠点都市推進事業 ・ 稼げるインバウンド茨城・誘客促進事業
B 地方創生に相当程度効果があった (一部のK P I が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる)	7	・ わくわく茨城生活実現事業 ・ いばらきサイクルツーリズム推進強化事業
C 地方創生に効果があった (K P I の達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる)	1	・ リスキリング推進事業
D 地方創生に効果がなかった (K P I の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い)	0	
- 効果の有無はまだわからない (効果発現時期がまだ到来していない)	1	・ 植物園等魅力向上対策事業
計	11	

※デジタル実装型（2事業）は、国における事業効果判定の対象外であり、委員からの意見聴取のみを実施。

(5) 効果検証事業一覧

(単位:千円)

No.	事業名	交付対象事業費	種別	事業効果	主な事業内容等
1	スタートアップ・エコシステム拠点都市推進事業	126,095	ソフト	A	・県内大学・研究機関の共同研究、技術シーズの発掘・事業化支援、実証実験の支援を実施 ・ディープテック分野の企業に対して資金調達や市場戦略等の専門家によるアドバイスを行うなどの海外展開支援 ・国内外の起業家や研究者など多様な人材が交流するプログラムの開催
2	稼げるインバウンド茨城・誘客促進事業	139,139	ソフト	A	・台湾や韓国等を対象としたプロモーションの実施 ・海外旅行会社やインフルエンサー向けに主要な観光施設やゴルフ場等を紹介するファミツアールの開催やオンライン旅行会社と連携した販売体制の整備
3	わくわく茨城生活実現事業	119,395	ソフト	B	・一定の要件を満たす移住者へ移住支援金を支給 ・子育て世帯へ支援金を加算(最大100万円) ・県が抱える社会的課題に対して効果的な起業等をする者に対して支援金を給付 ・いばらき就職チャレンジナビにより、県内企業の求人情報等を発信
4	デジタル技術を活用した移住促進事業	76,091	ソフト	B	・オンラインコミュニティの運営 ・上記の参加者確保のためのイベントの実施、移住関連イベントへの出展 ・東京圏の人材と県内企業とが連携した地域課題解決型プロジェクト(iBARA KICK!)の実施
5	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業	46,571	ソフト	B	・専門マネージャーの県内企業訪問による経営課題の切り出しや求人ニーズの掘り起こし ・転職、出向、副業等の多様な就業形態に応じたマッチング支援 ・プロフェッショナル人材活用のための普及・啓発セミナーの開催
6	高度IT人材等育成・新事業創出支援事業	21,989	ソフト	B	・新事業、新製品、新サービス開発等に挑戦・取り組む企業に対し、研修参加費の補助を実施 ・プログラミング、データベース、統計学に係るスキルを修得するための講座の実施
7	続・ひたちなか大洗リゾート構想推進事業 ～オンリーワンの稼げるリゾートを目指して～	29,299	ソフト	B	・カジキ釣り国際大会を中心とするイベント「IBARAKI INTERNATIONAL FISHING FESTIVAL」の実施 ・シャトルバス運行による渋滞対策の実証実験や、民間連携による駐車場の増設の実施 ・地域資源を物語で運動させて高付加価値化を図るストーリーブランディングを推進し、WEBメディアやSNSで発信 ・市町と連携したイベントや地域特産品フェアの開催など
8	いばらきサイクルツーリズム推進強化事業	44,548	ソフト	B	・サイクリストにやさしい宿のPRの実施(大規模イベント開催に合わせた雑誌・WEB等による情報発信) ・サイクリングを活用した教育旅行の実施 ・ライドイベントにおける移住・定住に関するPRの実施
9	いばらきネクストツーリズム推進事業	212,850	ソフト	B	・民間データを活用した本県観光の調査分析および観光施策への反映 ・IPコンテンツを活用したキービジュアル・プロモーション動画・観光特設サイトの制作 ・発信力の高いVTuberグループと連携し、本県の地域資源の魅力を紹介する動画配信やSNSを活用した情報発信のほか、観光地等における動画と連動した誘客促進企画を実施
10	リスキリング推進事業	50,784	ソフト	C	・リスキリング推進宣言制度の実施、先進的な企業の顕彰 ・企業向け、個人向けのワークショップ、シンポジウムの開催 ・デジタルに関する実践力を習得する講座を設置
11	植物園等魅力向上対策事業	-	拠点	-	・茨城県植物園等を「THE BOTANICAL RESORT 林音」にリニューアルし、宿泊施設、温浴施設、飲食施設、遊戯施設等の新設及び関連インフラを整備
12	福祉相談AI活用事業	27,300	デジタル		・生活困窮等に係る相談業務における生成AI・タブレット端末の導入 【主な機能】 ・生成AIによる最適な支援メニュー等の案内 ・生活保護受給者等の個人情報クラウドサービスに保管 ・生成AIによる文字おこし・要約を活用した記録作成 【委員からの主な意見】 ・業務効率化と個人情報保護の観点から良い取組である。 ・住民に心理的負担を与えず、かつ職員が安全・効率的にAIの恩恵を受けられるよう、業務手順書の改訂にあたり、現場での工夫等も取り入れていただきたい。
13	AIを活用した児童相談窓口	13,722	デジタル		・児童相談所におけるAI相談システムの導入 【主な機能】 ・AI音声認識技術を用いて、会話内容をリアルタイムにテキスト化し、音声データを保存 ・会話内容をリアルタイムで分析し、制度・マニュアル・過去事例等から必要な支援情報や確認すべきチェックリストをガイダンスとして表示 ・生成AI機能で、テキスト化データの要約文を作成 【委員からの主な意見】 ・業務効率化と個人情報保護の観点から良い取組である。 ・AI要約の精度不足等の課題解決に向けたシステム改修にあたっては、外部専門家や現場の声を反映し、オープンに意見交換できる体制のもと改修を進めていただきたい。

3 カジキ釣り国際大会を中心とする総合イベントの開催結果について

(1) 目 的

世界的にも富裕層に人気が高いマリンレジャーであるカジキ釣りの国際大会を、幅広い層に訴求する総合イベントとして開催することで、ひたちなか大洗地域の魅力を国内外に発信し、地域のブランド力向上や新たな誘客につなげる。

(2) イベント概要

- ① 開催日：令和8年8月28日（金）～30日（日）の3日間
- ② 主催者：茨城インターナショナルフィッシングフェスティバル実行委員会
（構成）茨城県、大洗町、ひたちなか市、大洗町商工会、ひたちなか商工会議所、（一社）大洗観光協会、ひたちなか市観光協会、いばらきビルフィッシュトーナメントネットワーク、（株）ユニマツプレシヤス
- ③ カジキ釣り国際大会（大洗マリーナを拠点とした茨城沖）
 - ・参加隻数：49隻（約270人）※申込：51隻（約300人）
 - ・招待選手：6人（外国人2人（デボン氏、ラッセル氏（米国））
日本人4人（佐々木主浩氏、佐々木加奈子氏、小川直也氏、鈴木斉氏））
 - ・釣 果：2匹（ヒットは25回）
- ④ フィッシングフェスティバル（来場者数：約7,000人）
 - ・那珂湊おさかな市場（8月28日（金）・29日（土））
カジキ解体ショー、カジキ釣り国際大会の検量式を実施
 - ・大洗港区第4埠頭（8月30日（日））
カジキ解体ショーのほか、カジキメニューの提供、「海」や「釣り」に関するワークショップ体験等を実施
 - ・衛星通信システム（STARLINK）を活用した洋上とのリアルタイム中継を実施
- ⑤ 表彰式
 - ・優勝チームに賞金と副賞（メキシコ大会への出場費用）を贈呈
BIGマーリン賞（重量130kg以上の釣果）は該当なし
 - ・世界最大のカジキ釣り大会「Bisbee's Black & Blue」の開催地のロス・カボス市（メキシコ）とのスポーツフィッシングや観光分野に係る機関間協力協定に向けた調整状況について紹介

(3) その他

- ・サポーター店制度を拡充し、大会参加者及び来訪者の地元飲食店舗等の利用を促進することで、地域における大会開催機運を醸成
38店舗参加（ドリンク一杯無料など任意サービスあり）
デジタルスタンプラリーは8月15日（土）～9月30日（水）まで実施



（検量式の様子）



（洋上とのリアルタイム中継）



（表彰式の様子）

4 新カシマサッカースタジアム基本計画策定の進捗状況について

(1) 目 的

県立カシマサッカースタジアムは、供用開始から 30 年以上が経過し、施設の老朽化や塩害による影響に加え、維持管理コストの増大が課題となっている。

このため、官民連携による新スタジアム整備の実現に向け、整備方針や施設規模、導入機能、管理運営手法、官民の役割分担等について検討を行い、「新カシマサッカースタジアム基本計画」を策定する。

(2) 進捗状況

① 新カシマサッカースタジアム基本計画検討有識者会議について

ア 目 的

- ・基本計画の策定に当たり、スタジアム整備の基本方針、機能及び規模、配置・附帯施設、事業手法及び官民連携等について専門的かつ中立的な立場から検討及び助言を行う。

イ 構成員

- ・建築（まちづくり／都市計画）、スタジアム計画／設計、スタジアムビジネス、官民連携の 4 分野の有識者 5 名及び関係機関のオブザーバー 4 名で構成（別紙名簿参照）。

ウ 開催状況

- ・令和 8 年 8 月 5 日（水）に第 1 回有識者会議を開催し、新スタジアム整備に係るこれまでの経緯や前提条件を共有するとともに、基本計画の構成案、整備方針、施設規模及び導入機能等について意見交換を実施。
- ・主な意見は以下のとおり。
 - ◆現スタジアムは、県外から多数の観客が長距離移動して来場するという特徴があり、一般的なスポーツコンプレックスの考え方ではなく、鹿島の特性に即したオーダーメイドの計画とする必要がある。
 - ◆観客席数については、将来的な需要やターゲット層等を踏まえた適正規模とすべきである。
 - ◆スタジアム単体ではなく、鹿行地域における位置付けや周辺まちづくりなどと一体的に検討すべきである。
 - ◆鹿島アントラーズの本拠地として、競技力向上に資する機能やデジタル化・スマート化の視点を取り入れるべきである。
 - ◆導入機能の検討にあたっては、明確なターゲットや人を呼ぶための「フック」を設定することが重要であり、鹿島アントラーズの既存ファン層等を踏まえた独自のターゲット分析が必要である。

② 新スタジアム整備に係るアンケートについて

ア 目 的

- ・新スタジアム整備に対する県民の期待や意見を把握するとともに、観戦需要や新スタジアムが地域にもたらす価値等を把握し、基本計画策定に反映するため実施する。

イ 概 要

期 間	令和8年8月28日（金）から9月15日（火）まで
対象者	県民、鹿島アントラーズサポーター、新スタジアムに関心のある方など
調査内容	新スタジアムへの期待、重視する機能・サービス、現スタジアムの利用状況や課題、非試合日の利用意向、地域にもたらす効果への期待等
回答方法	Web アンケート
周知方法	県ホームページ、県公式 SNS（X、LINE、Facebook）、鹿島アントラーズ公式サイト・公式 SNS（X、LINE、Facebook）、鹿嶋市公式 SNS（X、LINE、Facebook） ※このほか、鹿行地域5市（鹿嶋市、神栖市、潮来市、銚田市、行方市）の市役所にチラシを設置
その他	・調査結果については、取りまとめ後、県ホームページ等で公表予定。 ・本アンケートは、新スタジアム整備の賛否を問うものではなく、基本計画の検討にあたり意見やニーズを把握するために実施。

（3）今後の予定

令和8年

- ・8月から9月 アンケート実施
- ・10月中旬 第2回有識者会議
- ・10月以降 事業者サウンディング
- ・11月以降 2～3回程度有識者会議を開催

令和9年

- ・1月以降 基本計画案のとりまとめ
 ※その後、パブリックコメントを実施

新カシマサッカースタジアム基本計画検討有識者会議委員等名簿

	氏名	役職
委員	熊澤 貴之	茨城大学学術研究院応用理工学野教授
委員	上林 功	日本女子体育大学体育学部健康スポーツ学科教授
委員	信江 雅美	広島経済大学客員教授
委員	庄子 博人	同志社大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科准教授
委員	足立 慎一郎	政策研究大学院大学教授
オブ ザーバー	飯塚 和宏	鹿嶋市都市整備部スタジアムエリアみらい整備室長
オブ ザーバー	横松 篤志	公益社団法人日本プロサッカーリーグ クラブライセンス事務局 施設推進担当
オブ ザーバー	鈴木 純一	公益財団法人茨城県サッカー協会副会長兼専務理事
オブ ザーバー	横田 直道	株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー 新スタジアム準備室マネージャー

5 Okukuji クロス X 2026 等サイクリイベントの開催について

(1) Okukuji クロス X -Ride & Trail 2026 【令和7年度～】

① 開催目的

本県が誇る2大アウトドア資源であるサイクルルート「奥久慈里山ヒルクライムルート」とトレイルコース「常陸国ロングトレイル」を活用した国内唯一無二のサバイバルレースを開催し、両コースの全国的な認知度向上を図るとともに、会場やエイドステーション等で地元産品を提供するなど、本県の魅力を国内外に広く発信する。

② 開催概要

開催日	令和8年10月17日(土)、18日(日)
主催	奥久慈里山ヒルクライムルート利活用推進協議会
コース	① クロス部門(熟達者向けコース) 【1日目】サイクリング(125km) 水戸城大手門→八溝山→大子町袋田 【拡充】計測区間1か所(2025)→3か所(2026) 【2日目】トレイルランニング(59km) 袋田→竜神ダム→袋田 【拡充】コースに奥久慈男体山を加え、より過酷さアップ ② クロス部門(入門者向けコース)【新規】 【1日目】サイクリング(95km) 水戸城大手門→大子町袋田 【2日目】トレイルランニング(33km) 竜神ダム→袋田 (上記以外にサイクリング、トレイルランニングのみの参加も可能)
参加費	①12,000円、②10,000円 ほか
方式	自転車計測区間(3か所 ※入門者向けは1か所)+トレイルランニングのタイム合計で順位を決定、上位入賞者には豪華賞品贈呈 (賞品例)クロス熟達者 総合優勝:常陸牛100kg、県産米60kg 等

〔参考〕昨年度の開催実績

開催日程:令和7年10月18日(土)、19日(日)

参加者数:2日間延べ208人

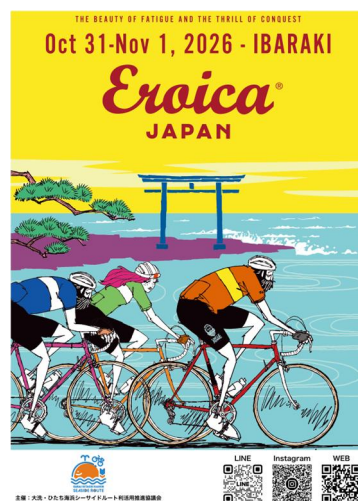
主な成果:メディア掲載実績93件(広告換算額:約6億2千万円)



(2) エロイカジャパン茨城 【令和8年度新規】（本県初開催）

地域の自然・文化・歴史を楽しみながら走ることをコンセプトに、挑戦や冒険心、古き良きサイクリング文化を体感するイタリア発祥のサイクリングイベントを、大洗・ひたち海浜シーサイドルートを舞台に初開催し、本県の魅力を国内外へ広く発信する。

開催日	令和8年10月31日(土)、11月1日(日)
主 催	大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進協議会
会 場	エロイカビレッジ (ひたちなか市旧磯崎小学校)
コース	ロング : 会場-原子力科学館-十王ダム-大洗 (2日目のみ) -そ・ら・ら-湊沼-水戸-会場 (190km) ミドル : (大洗までロングと同コース) -湊沼-水戸-会場 (150km) ショート1: 会場-大洗-そ・ら・ら-湊沼-水戸-会場 (100km) ショート2: 会場-大洗-湊沼-水戸-会場 (50km)
参加費	【1日目】車種制限なし 14,000円 【2日目】ビンテージ自転車限定 18,500円
方 式	チェックポイントを巡るスタンプラリー形式 会場やエイドステーションで県産品を提供



(3) K1ライド 【令和4年度～】

「LAKE to LIKE 霞ヶ浦からいばらきを好きになる」をキーワードに、国からナショナルサイクルルートに指定されている「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を舞台に、霞ヶ浦を巡るサイクリングイベントを開催し、コースの全国的な認知度向上を図るとともに本県の魅力を国内外に広く発信する。

開催日	令和8年11月29日(日)
主 催	つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会
コース	① ロングライド (126km) ② ミドルライド (94km) ③ ハーフ(57km)+サイクルーズ ④ サイクルーズ+ハーフ(47km) ⑤ ビギナーライド (36km) 等
参加費	①③④15,000円、②13,000円、⑤6,000円
方 式	霞ヶ浦を巡るサイクリングイベント エイドステーションで県産品を提供



6 いばらきスポーツ観戦デジタルスタンプラリーの開催について

(1) 開催目的

県内スポーツチームのホームゲーム観戦者を対象としたデジタルスタンプラリーを実施することにより、県民が複数の競技やチームを観戦する機会を創出し、県内スポーツチームの活動を盛り上げ、新たなスポーツファンの獲得及び観客動員数の増加並びに県内スポーツの活性化を図る。

(2) 開催概要

実施期間	令和8年10月7日(水)～令和9年2月27日(土) (全71試合)
主 催	茨城県
対 象 者	県内対象チームのホームゲーム観戦者(県民・県外問わない)
対象チーム	県内に本拠地を置くチーム8球団 ①【サッカー】鹿島アントラーズ、水戸ホーリーホック、マルバ水戸FC(フットサル) ②【男子バスケ】茨城ロボッツ ③【女子バスケ】日立ハイテククーガーズ ④【女子バレー】Astemoリヴァーレ茨城 ⑤【男子バレー】つくばユナイテッドSun GAIA ⑥【アメフト】茨城セイバーズ
実施方式	デジタルスタンプラリー方式 上記①～⑥区分の観戦ごとにスマートフォンでデジタルスタンプを取得し、1区分以上の参加者全員にオリジナル壁紙、2区分以上の参加者の中から抽選で約1,200名に景品をプレゼント
景 品	オリジナルクリアファイル、各チーム選手のサイン入りグッズ、常陸牛など県産品等を抽選で提供
広 報	・県広報誌「ひばり」10月号(9/27発行)にて事業紹介 ・土浦イオンモール「花火ひろば」にて「いばらきスポーツ応援フェスタ」を開催(10/12予定)

茨城で活動中のスポーツチームを観戦してスタンプをGET!

アプリダウンロード & 試合観戦で

必ずもらえる!!

いばらきスポーツ観戦!

デジタルスタンプラリー



私たちと一緒に
茨城スポーツを盛り上げよう!

開催期間 2026 10.7 水 ▶ 2027 2.27 土

応募締め切り
2027.2.28 日 まで

スタンプラリー
サイトへの
アクセスは
コチラ!



豪華賞品

- | | | |
|------------|--|-----------------|
| スタンプ
1個 | 必ずもらえる!
オリジナル壁紙 | 全員 |
| スタンプ
2個 | オリジナルクリアファイル | 抽選 1,000名 |
| スタンプ
3個 | オリジナルQUOカード | 抽選 200名 |
| スタンプ
4個 | 選手サイン入りグッズ | 抽選 32名 (8チーム×4) |
| スタンプ
5個 | 選手サイン入りユニフォーム
※応募締め切りは2026年12月末日になります | 抽選 8名 (8チーム×1) |
| スタンプ
6個 | 県産品(常陸牛)
※茨城セイバースの対象試合は2026年10月で終了となります | 抽選 5名 |

参加方法

Step1
スタンプラリーアプリをダウンロードしよう!

Step2
各チームのホームゲーム会場に行こう!

Step3
スタンプを読み取ろう!
スタンプ取得用のQRコードポスターは
ホームゲーム会場内に設置してあります。

Step4
コースを選んで応募しよう!!
ホームゲーム会場内に設置されたQRコード
ポスターを読み取りスタンプをGET!



ご注意 ※デジタルスタンプラリー開始前に必ずアプリ内の《ご確認事項》をお読みください

【主催】茨城県広域スポーツセンター(茨城県政策企画部スポーツ推進課)

【問い合わせ】株式会社 茨城読売IS(茨城県委託事業受託者) 受付時間(平日9:00~17:00) ✉ spoiba@ibaraki-yis.co.jp

7 県北振興の推進について

(1) 常陸国ロングトレイルについて

① 目的

日本有数の距離を誇り、県北地域の多様な地域資源を活かしたアウトドアコンテンツである常陸国ロングトレイルについて、本県を代表する観光コンテンツへの成長を推し進めることで、国内外からの誘客を一層促進する。

② 具体的な取組状況

ア ロングトレイルコースの整備・活用等

(ア) コース整備

時点	開通延長
令和7年度末	約275km
令和8年9月19日	約350km（全線開通）

(イ) 来訪者数

(単位：人)

年度	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
来訪者数	2,091	3,660	9,912	45,249	105,256	123,749

イ 全線開通式

全線開通を記念して、関係者による開通式を開催。

【式概要】

日時	令和8年9月19日（土）10：00～
場所	常陸大宮市美和地域センター（茨城県常陸大宮市高部5281-1）
出席者	招待者、一般参加者合わせ約300名（予定）
ゲスト	プロアドベンチャーレーサー 田中陽希氏
内容	○知事挨拶、来賓挨拶、開通セレモニー、記念撮影 ○式終了後、一般の方も参加の歩き初めイベント（尺丈山、高部集落等）を開催



尺丈山山頂

③ 今後の取組

- ・県北6市町をすべて通過し、自然・歴史・文化など、県北地域に点在する多様な地域資源をつなぐ国内最長の周回コースとしてブランディングすることにより、他地域との差別化と認知度の向上を目指す。
- ・トレイル未経験者から上級者、日帰りから滞在型等、様々なニーズに対応したモデルプランの提供により、来訪者の増加と滞在時間や消費の拡大を

目指す。

- ・ 県北の豊かな地域資源を巡るアクティビティとして、コース周辺の地域資源、観光資源等を活かしながら、インバウンドを含む誘客コンテンツ化を図り、国内外からの誘客を一層促進し、県北地域はもとより、県内各地への観光客の周遊促進につなげていく。

（２）県北里山ディスカバリー事業

県北地域山間部に広がる日本の原風景と言える里山を観光資源として活用し、コスプレや忍者修行体験などの話題性の高いコンテンツの創出や、プロモーション強化、分散型宿泊施設の誘致など、地域一体となった誘客促進や観光消費額の拡大を図ることで、持続的な地域活力の創出を目指す。

【コンテンツツーリズム推進事業】

① 目的

コスプレをきっかけに、若年層等の新たな来訪者を呼び込み、観光消費の拡大やSNS等を通じた地域の認知度向上を図る。あわせて、コスプレロケ地登録を通じて、コスプレイヤー等の来訪・再訪を促し、コスプレを活用した観光事業者の新たな収益機会を創出する。



② 概要

ア コスプレイイベントの開催

（ア）acosta!@茨城県大子町

開催日時	令和8年10月24日（土）11:00～19:00
開催場所	大子駅前商店街、大子おやき学校、奥久慈茶の里公園、藤田観光りんご園 等（周遊バスを運行）
参加料金	大人：前売り2,180円～ 中高生：前売り1,180円
実施内容	・ レトロな商店街や自然豊かなロケーションでのコスプレ撮影 ・ 参加者同士の交流 ・ 店舗利用 ・ J R 水郡線「コスプレ貸切列車」の運行（水戸駅～常陸大子駅）

（イ）コスプレ修学旅行

- ・ 令和9年2月頃実施予定
- ・ 東京から観光バス2台をチャーター。現地参加も可。
- ・ 大子町内ホテルを貸し切り、ホテル施設内や周辺の里山スポット（大子駅前商店街、川、滝、夕日など）でコスプレ撮影を行う。

イ コスプレロケ地登録の推進

- ・コスプレロケ地検索・予約サービス「アコロケ」に登録した店舗・施設での有料撮影（通年）により、コスプレイヤー等の継続的な来訪につなげる。
- ・ロケ地利用が店舗・施設の新たな収入源となる。

【体験型コンテンツ創出事業】

① 目的

県北地域の豊かな自然や里山景観を生かした「忍者」をテーマとする体験型観光コンテンツを造成し、国内外からの新たな観光誘客、滞在時間の延長や地域内の周遊促進につなげるとともに、地域事業者による持続的な運営を通じて、新たな観光コンテンツとしての定着を図る。



② 概要

ア 拠点施設「常陸国忍者学校」における忍者修行体験の提供

体験日時	令和8年10月3日（土）より、土日祝日に提供 ※常設。団体及びGWや学校の長期休業期間は平日も対応。 午前の部：10:00～、午後の部：13:00～
体験場所	金砂ふるさと体験交流施設「かなさ笑楽校」（常陸太田市）
体験料金	子供（6～15歳）1,650円、大人 3,300円
体験内容	忍者装束を着て、所要2時間程度のプログラムを体験 ①里山ミッション（敷地外の里山で謎解き、探検等） ②修行体験（手裏剣打ち、水蜘蛛等10種程度の修行）

イ 忍者ハイキングイベントの実施

- ・トレイルコースや里山でのハイキングイベントの実施
- ・忍者装束のレンタル、手裏剣打ちなどの忍術修行
- ・実施予定
令和8年11月14日 辰ノ口親水公園（常陸大宮市）
令和8年12月5日 西金砂神社（常陸太田市） 等

ウ 忍者ブースの出展

- ・道の駅などの集客施設でのプロ忍者出演や修行体験ブースの出展
- ・出展予定
令和8年10月11日 竜神大吊橋（常陸太田市）
令和8年11月1日 道の駅奥久慈だいがWEST（大子町） 等

エ 忍者キャンプの実施

- ・忍者をテーマにした1泊2日のキャンプイベント
- ・実施予定
令和9年1月9～10日 大子町内キャンプ場

(3) 県北中小企業意識改革事業

① 目的

県北地域の中小企業の経営者を対象に、本質的な経営課題に対する「気づき」を促すセミナーを開催するとともに、県北地域におけるビジネスプランの策定支援を行い、企業の新事業展開を促す。



② 概要

ア 経営力革新セミナーの開催

第1回	日にち：令和8年5月16日（土） 参加実績：76名 内 容：「導く力、支え合う力 ～事業を拓く組織のつくり方～」 講 師：(株)ヤマコーポレーション代表取締役 鬼澤 慎人 氏
第2回	日にち：令和8年6月20日（土） 参加実績：78名 内 容：「アントレプレナーシップと新規事業開発」 講 師：武蔵野大学アントレプレナーシップ学部学部長 伊藤 羊一 氏

イ ビジネスプランの策定支援（アイデアソンの実施）

期 間	令和8年7月～12月																																		
場 所	日立地区産業支援センター																																		
参加者数	① 7/18(119名) ② 8/15(93名) ③ 9/19 ④ 10/17 ⑤ 11/21 ⑥ 12/19																																		
内 容	公募により選定した10社のビジネスプランについて、多様な参加者がアイデアを出し合うアイデアソンの手法を活用して磨き上げを行い、企業の新事業展開を促進 【アイデアソン参加企業】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>企業名</th><th>所在地</th><th>業種</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(株)マイステック</td><td>日立市</td><td>金属製品製造業</td></tr> <tr> <td>(株)茨城テック</td><td>日立市</td><td>電気機械器具製造業</td></tr> <tr> <td>コンプラス(株)</td><td>日立市</td><td>サービス業（生活関連）</td></tr> <tr> <td>(株)ゆいまーる</td><td>日立市</td><td>医療業</td></tr> <tr> <td>(株)オールウェイタッグ</td><td>日立市</td><td>広告制作業</td></tr> <tr> <td>自然と仲良し（NPO法人 MAPS）</td><td>日立市</td><td>社会保険・社会福祉・介護事業</td></tr> <tr> <td>常陸太田産業振興(株)</td><td>常陸太田市</td><td>サービス業（施設運営管理）</td></tr> <tr> <td>(有)セイワ</td><td>高萩市</td><td>総合工事業</td></tr> <tr> <td>(株)PROUD</td><td>高萩市</td><td>広告業・サービス業</td></tr> <tr> <td>ハルタスク（METEORA GRAVITY）</td><td>北茨城市</td><td>映像・音声・文字情報制作業</td></tr> </tbody> </table>		企業名	所在地	業種	(株)マイステック	日立市	金属製品製造業	(株)茨城テック	日立市	電気機械器具製造業	コンプラス(株)	日立市	サービス業（生活関連）	(株)ゆいまーる	日立市	医療業	(株)オールウェイタッグ	日立市	広告制作業	自然と仲良し（NPO法人 MAPS）	日立市	社会保険・社会福祉・介護事業	常陸太田産業振興(株)	常陸太田市	サービス業（施設運営管理）	(有)セイワ	高萩市	総合工事業	(株)PROUD	高萩市	広告業・サービス業	ハルタスク（METEORA GRAVITY）	北茨城市	映像・音声・文字情報制作業
企業名	所在地	業種																																	
(株)マイステック	日立市	金属製品製造業																																	
(株)茨城テック	日立市	電気機械器具製造業																																	
コンプラス(株)	日立市	サービス業（生活関連）																																	
(株)ゆいまーる	日立市	医療業																																	
(株)オールウェイタッグ	日立市	広告制作業																																	
自然と仲良し（NPO法人 MAPS）	日立市	社会保険・社会福祉・介護事業																																	
常陸太田産業振興(株)	常陸太田市	サービス業（施設運営管理）																																	
(有)セイワ	高萩市	総合工事業																																	
(株)PROUD	高萩市	広告業・サービス業																																	
ハルタスク（METEORA GRAVITY）	北茨城市	映像・音声・文字情報制作業																																	



令和 8 年 第 3 回定例会 総務企画委員会資料

県出資法人の事業実績及び事業計画の概要

- 鹿島都市開発株式会社・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 鹿島臨海鉄道株式会社・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

令和 8 年 9 月 15 日

政 策 企 画 部

1 出資法人の概要																											
①法人の名称	鹿島都市開発株式会社																										
②所 在 地	茨城県神栖市大野原四丁目 7 番 1 号																										
③設立年月日	昭和 44 年 7 月 7 日																										
④代 表 者 名	代表取締役社長 中川 欽正																										
⑤基 本 財 産	1,480,800 千円																										
⑥設 立 根 拠	会社法第 2 編第 1 章（旧商法第 2 編第 4 章）																										
⑦設 立 目 的 ・ 経 緯	鹿島地域の都市づくりの一環を担うため、住宅団地・工業用地等の造成事業などを行い、計画的な都市開発を進め、生活環境の整備を図る。																										
⑧組 織	役職員数 取締役 11 人 監査役 2 人 常勤職員 102 人 嘱託・臨時 80 人(R8.7.1 現在) 組織機構（課所単位まで） 取締役会 監査役 経営企画室 総 務 部 設計開発部 施設管理部 総 務 課 経 理 課 都市整備課 上下水道課 鹿島用地管理センター 管 理 神栖市下水道等・鹿行水道 むつみ荘 かみす防災アリーナ 深芝管理事務所 鹿嶋管理事務所 潮来管理事務所 給食管理事務所 深芝処理場 神栖衛生プラント 鹿嶋浄化センター 鹿嶋汚泥再生処理施設 潮来浄化センター 潮来中継ポンプ場 給食事務 神栖第一給食センター 神栖第二給食センター 神栖第三給食センター																										
⑨出 資 状 況	（上位 5 団体、出資者名、金額、割合） <table><tr><td>出資者名</td><td>金額(千円)</td><td>割合(%)</td></tr><tr><td>茨城県</td><td>693,000</td><td>46.8</td></tr><tr><td>鹿島都市開発株式会社役員持株会</td><td>199,500</td><td>13.5</td></tr><tr><td>株式会社常陽銀行</td><td>72,000</td><td>4.9</td></tr><tr><td>株式会社筑波銀行</td><td>72,000</td><td>4.9</td></tr><tr><td>関東鉄道株式会社</td><td>50,000</td><td>3.4</td></tr></table>			出資者名	金額(千円)	割合(%)	茨城県	693,000	46.8	鹿島都市開発株式会社役員持株会	199,500	13.5	株式会社常陽銀行	72,000	4.9	株式会社筑波銀行	72,000	4.9	関東鉄道株式会社	50,000	3.4						
出資者名	金額(千円)	割合(%)																									
茨城県	693,000	46.8																									
鹿島都市開発株式会社役員持株会	199,500	13.5																									
株式会社常陽銀行	72,000	4.9																									
株式会社筑波銀行	72,000	4.9																									
関東鉄道株式会社	50,000	3.4																									
⑩資 産 状 況 (令和 8 年 3 月末現在)	<table><tr><td>項 目</td><td>金額（単位：千円）</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>流 動 資 産</td><td>1,919,063</td><td>現金、預金等</td></tr><tr><td>固 定 資 産</td><td>281,969</td><td>土地等</td></tr><tr><td>資 産 合 計</td><td>2,201,032</td><td></td></tr><tr><td>流 動 負 債</td><td>779,796</td><td>未払費用等</td></tr><tr><td>固 定 負 債</td><td>3,857,190</td><td>長期借入金等</td></tr><tr><td>資 本</td><td>△ 2,435,954</td><td>資本金等</td></tr><tr><td>負債・資本合計</td><td>2,201,032</td><td></td></tr></table>			項 目	金額（単位：千円）	摘 要	流 動 資 産	1,919,063	現金、預金等	固 定 資 産	281,969	土地等	資 産 合 計	2,201,032		流 動 負 債	779,796	未払費用等	固 定 負 債	3,857,190	長期借入金等	資 本	△ 2,435,954	資本金等	負債・資本合計	2,201,032	
項 目	金額（単位：千円）	摘 要																									
流 動 資 産	1,919,063	現金、預金等																									
固 定 資 産	281,969	土地等																									
資 産 合 計	2,201,032																										
流 動 負 債	779,796	未払費用等																									
固 定 負 債	3,857,190	長期借入金等																									
資 本	△ 2,435,954	資本金等																									
負債・資本合計	2,201,032																										

2 令和7年度事業実績

(1) 事業内容

令和7年度の経営状況は、令和6年10月にホテル事業等を譲渡した影響もあり、全体として減収となった。

施設管理事業においては、下水道施設関連業務の増加に伴い前期比約7,300万円（4.2%）の増収となった。一方で、設計管理事業においては、鹿島開発関連事業の進展に伴う業務量の減少により前期比約4,300万円（12.9%）の減収となり、土地管理事業においては前期の売上を確保した。

ア 不動産事業

ソーラーパネル用途の土地賃貸及び管理業務を行った。

- ・売上高 197万円

イ 施設管理事業

県及び地元市から上下水道施設、給食施設、教育余暇施設及び衛生施設の管理業務を受託した。

- ・売上高 18億2,932万円

ウ 設計管理事業

県や地元市から道路・河川、上下水道、公園・緑地等の工事などに係る設計及び施工管理等の業務を受託した。

- ・売上高 2億9,555万円

エ 土地管理事業

県から鹿島開発関連用地の維持管理業務及び処分に伴う調査、登記関連業務等を受託した。

- ・売上高 8,056万円

(2) 収支状況

(単位：千円)

項 目	金 額	摘 要
営 業 収 益	2,207,395	受託料 等
営 業 外 収 益	5,704	受取利息 等
経 常 収 益 計 ①	2,213,099	
営 業 費 用	1,904,872	原材料費、人件費、経費 等
営 業 外 費 用	1,272	雑損失 等
経 常 費 用 計 ②	1,906,144	
経 常 利 益 ③ (①－②)	306,955	
特 別 収 益 計 ④	262	
特 別 損 失 計 ⑤	0	
税 引 前 当 期 純 利 益 ⑥ (③＋④－⑤)	307,217	
法 人 税 等 ⑦	△25,355	
当 期 純 利 益 ⑧ (⑥－⑦)	332,572	
前 期 繰 越 損 益 ⑨	△3,916,754	
当期末未処分損益累計 ⑩ (⑧＋⑨)	△3,584,182	

(3) 補助金等の受入状況

(単位：千円)

項 目	金 額	摘 要
出 資 金	－	
補 助 金	－	
委 託 金	2,666,485	茨城県 施設管理事業 1,422,614 設計管理事業 202,532 土地管理事業 88,616 神栖市 施設管理事業 694,919 設計管理事業 117,950 鹿嶋市 施設管理事業 113,388 潮来市 施設管理事業 25,542 鹿島地方 事務組合 設計管理事業 924
貸 付 金	－	
損 失 補 償 限 度 額 年 度 末 残 高	－	

3 令和8年度事業計画

(1) 事業内容

これまで培った技術力を活かし、都市環境の整備や公共施設の管理運営などを通して、社会貢献に努める。さらに、人材確保・育成の強化、業務の効率化・事業基盤の強化、組織運営体制の見直し等の重点施策を中心に、地域のニーズや社会環境の変化を的確に捉えた事業運営を推進し、持続的な成長と地域経済・地域活力の発展に寄与する。

ア 不動産事業

賃貸業については、ソーラーパネル用途の土地賃貸を継続するとともに、販売・仲介業については、周辺地価や土地取引等の動向を注視しながら、関係機関と調整し、販売用地の売却に向けた検討を行う。

- ・売上目標 200 万円

イ 施設管理事業

受託施設の適切な管理運営に努め、さらに、他団体・組織との連携を密にし、新規事業獲得に向けた情報交換に取り組む。

- ・売上目標 18 億 5,000 万円
- ・資格取得延べ人数 140 人
- ・勉強会等参加件数 20 件
- ・営業訪問件数 50 件

ウ 設計管理事業

これまでの信頼・実績を維持しつつ、地域特性に精通した優位性を活かし、新規受託獲得に向けた営業活動を実施する。

- ・売上目標 2 億円
- ・資格取得延べ人数 2 人
- ・営業訪問件数 28 件

エ 土地管理事業

鹿島開発関連用地の維持管理に関する業務の円滑な遂行に努める。

- ・売上目標 8,700 万円

(2) 収支計画

(単位：千円)

項 目	金 額	摘 要
営 業 収 益	2,138,296	施設管理及び設計管理による受託料等
営 業 外 収 益	3,440	
経 常 収 益 計 ①	2,141,736	
営 業 費 用	1,926,645	原材料費、人件費、経費等
営 業 外 費 用	1,000	
経 常 費 用 計 ②	1,927,645	
経 常 利 益 ③ (①－②)	214,091	
特 別 収 益 計 ④	－	
特 別 損 失 計 ⑤	－	
税引前当期純利益 ⑥ (③＋④－⑤)	214,091	
法 人 税 等 ⑦	43,130	
当 期 純 利 益 ⑧ (⑥－⑦)	170,961	
前 期 繰 越 損 益 ⑨	△3,584,182	
当期末未処分損益累計 ⑩ (⑧＋⑨)	△3,413,221	

(3) 補助金等の受入予定

(単位：千円)

項 目	金 額	摘 要
出 資 金	－	
補 助 金	－	
委 託 金	2,278,812	施設管理事業 2,121,022 設計管理事業 71,290 土地管理事業 86,500
貸 付 金	－	
損失補償限度額 年度末残高	－	

1 出資法人の概要

①法人の名称	鹿島臨海鉄道株式会社		
②所 在 地	茨城県東茨城郡大洗町桜道 3 0 1		
③設立年月日	昭和 44 年 4 月 1 日		
④代 表 者 名	代表取締役社長 高橋 秀仁		
⑤基 本 財 産	1, 2 2 6, 0 0 0 千円		
⑥設 立 根 拠	会社法 第 2 編 第 1 章 (旧商法 第 2 編 第 4 章)		
⑦設 立 目 的 ・ 経 緯	鹿島臨海工業地帯の生産品及び原料の輸送を主たる目的として、日本国有鉄道、茨城県及び進出企業の共同出資により、昭和44年4月1日に設立した。 その後、日本鉄道建設公団が建設していた国鉄鹿島線（水戸駅～北鹿島駅間）を、国鉄（現JR東日本）に代わって同社が経営することになり、昭和60年3月14日から大洗鹿島線として旅客営業を開始した。		
⑧組 織	役職員数	取締役 16 人	監査役 3 人
	常勤職員 78 人 嘱託・臨時 9 人		
⑧組 織	組織機構（課所単位まで）		
	社 長 副社長 専 務 常 務 取締役 監査役 経営戦略室 コンプライアンス室 安全推進室 総務企画部 運輸事業部 貨物事業部 総務課 財務課 企画課 旅客営業課 運輸車両課 施設課 貨物営業課 大洗駅 売店 保全区 神栖駅		
⑨出 資 状 況	(上位 5 団体、出資者名、金額、割合)		
	出資者名	金額（千円）	割合（％）
	日本貨物鉄道株式会社	4 6 0, 0 0 0	3 7. 5
	茨城県	3 6 2, 0 0 0	2 9. 5
	日本製鉄株式会社	6 0, 0 0 0	4. 9
	三菱ケミカル株式会社	5 4, 8 0 0	4. 5
	全国農業協同組合連合会	3 6, 0 0 0	2. 9
⑩資 産 状 況 (令和 8 年 3 月 31 日現在) ※単位未満切捨のため合計 が一致しない場合がある。	(単位：千円)		
	金 額	摘 要	
流 動 資 産	9 2 4, 7 6 9	現金預金等	
固 定 資 産	3, 4 5 5, 9 3 9	鉄道事業固定資産等	
資 産 合 計	4, 3 8 0, 7 0 9		
流 動 負 債	7 3 3, 1 0 2	預り連絡運賃、未払金等	
固 定 負 債	7 3 9, 2 8 5	退職給付引当金等	
負 債 合 計	1, 4 7 2, 3 8 8		
純 資 産	2, 9 0 8, 3 2 1	資本金等	
負債・純資産合計	4, 3 8 0, 7 0 9		

2 令和7年度事業実績

(1) 事業内容

第7次中期経営計画（令和6年度～令和8年度）に掲げた「輸送の安全確保」、「お客さまの求める質の高いサービスの提供」、「地域との連携・共生」の3つの基本的な考え方をもとに、持続可能な経営基盤の確立に取り組みつつ以下の事業を実施した。

また、次期中期経営計画策定に向けて、経営改善等に関する勉強会を昨年度4回開催し、現状把握と課題認識を共有し、経費削減策や収入増加策、人事・組織改革、公的支援・連携のあり方等を協議した。

ア 旅客運輸事業

大洗鹿島線として、JR水戸駅から鹿島サッカースタジアム駅間の53.0kmと、JR鹿島神宮駅までの3.2kmの直通乗り入れを合わせ、計56.2kmの旅客鉄道事業を実施したほか、駅売店の運営、施設賃貸などの関連事業を実施した。

通学旅客が伸びたことや、コロナ禍からの脱却が進み、沿線において花火大会などの各種イベントが開催されたこと、鹿島臨海工業地帯を走る工場夜景ナイトツアーなど団体貸切列車を運行により、旅客輸送量は前年度を上回り、対前年度比100.5%の1,828千人となった。

なお、収支改善を進めるため、令和6年10月1日より旅客運賃の改定を実施した。

○旅客輸送量 1,828千人（対前年度比 100.5%）

- ・通勤旅客 278千人（対前年度比 97.6%）
- ・通学旅客 845千人（対前年度比 102.6%）
- ・定期外旅客 705千人（対前年度比 99.3%）

イ 貨物運輸事業

鹿島臨港線として、鹿島サッカースタジアム駅と奥野谷浜駅の間を結ぶ19.2kmの貨物鉄道事業を実施した。

2026年1月からの東北・北陸・北海道方面の雪害により運休の影響を受けたものの、鹿島臨海工業地帯の定期修理が前年と比較して短期であったことや2024年問題を背景にした主要荷主の利用が増加したことにより、貨物輸送量は対前年度比103.2%の265.0千トンとなった。

○貨物輸送量 265.0千トン（対前年度比 103.2%）

- ・発送 177.1千トン（対前年度比 103.6%）
- ・到着 87.8千トン（対前年度比 102.4%）

(2) 収支状況

(単位：千円)

	金 額	摘 要
営 業 収 益	1, 1 2 6, 2 5 1	旅客運輸収入、貨物運輸収入等
営 業 外 収 益	1 4, 4 5 7	有価証券利息等
経 常 収 益 計 ①	1, 1 4 0, 7 0 8	
営 業 費 用	1, 1 2 3, 1 8 4	人件費、内燃動力費、修繕費等
営 業 外 費 用	9 5 8	支払利息等
経 常 費 用 計 ②	1, 1 2 4, 1 4 2	
経 常 利 益 ③ (①－②)	1 6, 5 6 6	
特 別 利 益 計 ④	1 2 4, 8 5 7	工事負担金受入等
特 別 損 失 計 ⑤	1 1 3, 7 6 0	固定資産圧縮損等
税 引 前 当 期 純 利 益 ⑥ (③＋④－⑤)	2 7, 6 6 3	
法 人 税 等 ⑦	7, 3 6 0	
当 期 純 利 益 ⑧ (⑥－⑦)	2 0, 3 0 3	
前 期 利 益 剰 余 金 ⑨	1, 6 6 2, 0 1 7	
利 益 剰 余 金 ⑩ (⑧＋⑨)	1, 6 8 2, 3 2 1	

※ 金額は千円未満を切捨てているため、合計が一致しない場合がある。

(3) 補助金等の受入状況

(単位：千円)

	金 額	摘 要
出 資 金	—	
補 助 金	1 9 1, 9 0 5	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (地域公共交通バリア解消促進等事業) (国補助額 33,333、県補助額 16,666、市町補助額 16,666) 鉄道施設総合安全対策事業費補助金 (安全) (国補助額 76,048) 鉄道施設総合安全対策事業費補助金 (老朽化対策) (国補助額 6,333) 鉄道施設総合安全対策事業費補助金 (地域鉄道メンテナンス体制強化) (国補助額 1,190) 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金 (県補助額 8,333、市町補助額 8,333) 地域公共交通経営改善支援事業費補助金 (公共交通 DX・GX による経営改善支援事業) (県補助額 25,000)
委 託 金	—	
貸 付 金	—	
損 失 補 償 限 度 額 年 度 末 残 高	—	

3 令和8年度事業計画

(1) 事業内容

社会情勢の変化や経営課題に的確に対応し、地域とともに歩む鉄道として持続的にその役割を果たしていくため、令和6年度から令和8年度を期間とする第7次中期経営計画を策定しており、当該計画の3つの「基本的な考え方」をもとに「経営の目標」を定め、引き続き経営改革に取り組んでいく。

また、昨年度に引き続き、経営改善等に関する勉強会を開催し、次期中期経営計画策定に取り組んでいく。

<第7次中期経営計画（R6～R8）>

【基本的な考え方】

- ・輸送の安全確保
- ・お客さまの求める質の高いサービスの提供
- ・地域との連携・共生

【経営目標】

「持続可能な経営基盤の確立 ～地域に信頼される鉄道を目指して～」

ア 旅客運輸事業

今後も少子高齢化に伴う沿線人口減少など、厳しい経営環境が予想されるが、学校行事や、サッカー観戦、沿線市町におけるイベント開催に合わせた増発・編成増強、大手旅行代理店と連携した線内外からの観光客誘致に積極的に努め利用者の増加を図る。

○営業目標：旅客輸送量	1, 848千人
・通勤旅客	282千人
・通学旅客	854千人
・定期外旅客	712千人

イ 貨物運輸事業

鹿島臨海工業地帯でも顕在化してきた「物流の2024年問題」、カーボンニュートラルの解決策として、JR貨物及び利用運送事業者と連携し、鹿島臨海工業地帯の株主企業をはじめとするお客様への積極的な営業活動を展開し、営業収益の拡大を目指す。

また、お客様のニーズに合わせて当社の利益向上に有効な施策（中長距離の発送貨物誘致、到着貨物の誘致）を盛り込んだ提案も行っていく。

○営業目標：貨物輸送量	272千トン
・発送	181千トン
・到着	91千トン

(2) 収支計画

(単位：千円)

	金 額	摘 要
営 業 収 益	1, 1 6 7, 6 7 6	旅客運輸収入、貨物運輸収入等
営 業 外 収 益	1 2, 3 9 4	有価証券利息等
経 常 収 益 計 ①	1, 1 8 0, 0 7 0	
営 業 費 用	1, 1 5 2, 3 0 5	人件費、内燃動力費、修繕費等
営 業 外 費 用	9 5 8	
経 常 費 用 計 ②	1, 1 5 3, 2 6 3	
経 常 利 益 ③ (① - ②)	2 6, 8 0 7	
特 別 利 益 計 ④	3 5 4, 2 0 0	
特 別 損 失 計 ⑤	3 5 1, 2 0 0	
税 引 前 当 期 純 利 益 ⑥ (③ + ④ - ⑤)	2 9, 8 0 7	
法 人 税 等 ⑦	1 0, 7 1 6	
法 人 税 等 調 整 額 ⑧	0	
当 期 純 利 益 ⑨ (⑥ - ⑦ - ⑧)	1 9, 0 9 1	
前 期 利 益 剰 余 金 ⑩	1, 6 8 2, 3 2 1	
利 益 剰 余 金 ⑪ (⑨ + ⑩)	1, 7 0 1, 4 1 2	

※ 金額は千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

(3) 補助金等の受入予定

(単位：千円)

	金 額	摘 要
出 資 金	—	
補 助 金	3 2 6, 2 0 0	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (地域公共交通バリア解消促進等事業) (国補助額 110,000、県補助額 55,000、市町 補助額 55,000) 鉄道施設総合安全対策事業費補助金 (安全) (国補助額 49,200) 鉄道施設総合安全対策事業費補助金 (老朽化 対策) (国補助額 15,333) 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金 (県補助額 8,333、市町補助額 8,333) 地域公共交通経営改善支援事業費補助金 (公共交通 DX・GX による経営改善支援事業) (県補助額 25,000)
委 託 金	—	
貸 付 金	—	
損 失 補 償 限 度 額 年 度 末 残 高	—	